

# ナトラスで大きな効果を出している人の共通点

## 納豆菌のエサ(有機物)と一緒に使っている

- ◎なたね油かす(60-80kg/反)
- ◎腐植入りのぼかし肥料(有機リッチ等)
- ◎発酵した堆肥
- ◎緑肥の残さ など

いずれかを一緒に使うことで、納豆菌がより活性化します。

## 定植2週間以上前に全面混和している

畑の有機物を分解し有用菌を増やしていくのが納豆菌の特徴です。株元散布より有機物と全面混和しているの方が、連作障害を軽減しています。

混和後、外気温で15℃以上の時期を経過していると、なお良いです。

## 納豆菌だけに頼り過ぎていない

ナトラスは万能ではありません。

農薬の使用はもちろん、ネギ自体の防御力を上げる工夫も重要です。

ネギの連作障害で困る前に

10a当り 10袋の全面混和で畑を根底から強くする

### ナトラス

10種の納豆菌と多種ミネラル入り 土壌改良材

ナトラス使用上の注意

- ・土壌消毒剤との混用は避け、必ずガス抜き後に施用して下さい。
- ・臭いが残っている場合がありますが品質には問題ありません。

10種の納豆菌とミネラルが3年分の成長力を強力にサポート

土壌中の有機物を多様に

熱にも強い菌のため、土壌熱に耐えどんどん増える

株アグリソイル・ソリューション

※(ナトラス製品)のごときを要します(納豆菌)と申入れています。

## 10種類の納豆菌が残さを強力に分解!

エサを奪い、有用菌を増やし、黒腐菌など連作障害を起こす菌が増えられないようにします。

80種類のミネラルがエサとなり良い菌を増やしていきます!

使い方

【黒腐菌核病が出た畑の場合】

ナトラス10袋/1反を混和→輪作(緑肥でも可)

→有機物と一緒にもう一度ナトラス10袋/1反を混和→ネギを定植

【黒腐菌核病があまり出ていない畑の場合】

ナトラス10袋/1反を有機物と混和→輪作(緑肥でも可)→ネギを定植